

提出された意見の概要及びそれに対する区の考え方について

合計意見数	4件
-------	----

<まちづくりの基本的な考え方について>

	提出された意見の概要	区の考え方
1	八幡通り拡幅（幅員6m以上）について、区界（蓮華寺前）までを第一に行うべきである。	杉並区界の狭あい道路ではなく、幹線道路である早稲田通りに接続させるとともに、避難場所となる旧大和小学校へのネットワークを形成するため、八幡通りのうち大和鹿鳴公園より東側の道路と、大和鹿鳴公園から早稲田通りに繋がる南北の道路を優先的に整備していく。なお、八幡通りのうち大和鹿鳴公園より西側の道路については、地区計画等を策定し、建替えにあわせて拡幅したいと考えている。
2	八幡通りに交差する大和町1～2丁目の通り（東・北）、大和町3～4丁目の通り（西）について、基本計画を明確に示して実施してほしい。	建替えにあわせて整備していく路線については、今後、地区計画を検討していく段階で、区の考え方などをお知らせしていきたいと考えている。
3	自転車転倒事故防止のためにも、セットバックしたところのマンホール、雨水マス、すみ切り部歩石段差の解消を進めてほしい。	避難道路の拡幅整備にあたっては、セットバック部分の道路としての整備等を進めていきたい。なお、幅員4m未満の道路は、生活道路拡幅整備事業により、引き続き、整備していくとともに、地域への啓発等を行っていく。
4	道路の整備は建替えを待つだけでは進まない。セットバックして家を建てているが、後退部分が道路に供されていない家に対して、区からの働きかけが必要ではないか。	